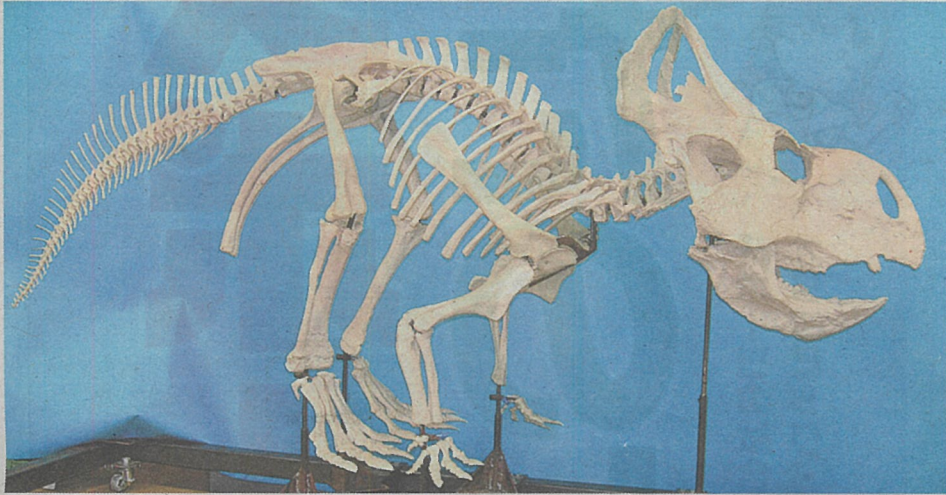


特集

モンゴルの恐竜プロトケラトプス。砂丘にすんでいたことがわかっていますが、猛暑の時はどうやって「熱中症」を予防していたのでしょうか？



地球の歴史「異常」だらけ

「過去最高の…」という表現がよく使われました。連日の猛暑を終わらせたのは台風10号による悪天候。その台風10号も「最大瞬間風速は80kmになるのでは」ということで「今までに経験

したことがない…」という表現がよく使われました。そんな言葉を聞きながらちょっと複雑な思いがあります。なぜなら、そのような言葉は、現代の人々の経験や、過去の人が測定した記録と比べてどうかという話だからです。人生はせいぜい100年。気象や災害

の記録も、数字で残っているのはここ100年余り。古文書の記録もせいぜい千数百年です。ではそれ以前は？ それ以前はもっとすごいことがあったかもしれないと思いませんか？

もしかすると、私たちが「異常だ」「地球がおかしい」と言っている今の状態は、あまり大したことではなくて、もっとひどい時代があったかもしれないと思いませんか？



プロトケラトプスの復元画 (絵: ビャンバーツオクト)

実は、「それ以前」がどうだったのかを知っている人たちがいます。地質学や古生物学の研究者です。7300年前に九州の南の海にある火山が大爆発して、岡山でも火山灰が20cm積もるほどだったこと。1万年余り前、氷河期が終わる時期は、短期間に年平均気温が6〜7度も変わるような不安定な大変動時代だったこと。6600万年前に巨大な隕石が落ちてきたこと。7億年ほど前は全地球が赤道まで凍結して、宇宙から見れば真っ白だったこと…。

つまり、ものすごい暑さや寒さ、火山の大爆発、大隕石衝突、巨大地震などは、いずれ必ず「そう、いずれ必ず起こること」で、地球の歴史から見ればそれが普通で、何も起こらないことはむしろ異常なことなのです。個人的には、生きていく間にそれらに出合わないことを願うばかりですが、首相や大統領をつとめる人は、「そんなこともあるのだ」という事は頭のごどこかに置いてほしいと私は思っています。

経験したことがない気象や災害

岡山理科大教授・石垣忍



恐竜調査隊が行く

まめちしき 豆知識

細かな点はいくつか説がありますが、一般に恐竜が生きていた中生代は暖かく、北極や南極に厚い氷はなかったと考えられています。特にモンゴルで見つかる恐竜たちが生きていた「白亜紀」は地球の歴史の中でも特別に暑い時代でした。